

【1. 開催に関する基本方針】

- [1]開催形態の基本方針を、ハイブリッド形式と定める。会場の人数制限は行わない。参加者は事前の申告なく対面とオンラインを自由に選べる。ただし、会場での活発な議論を促す観点から、講演者と座長はできるだけ現地参加を推奨する。
- [2]会場での実施に当たって感染防止対策を徹底するが、以下の通り参加者にも最大限の協力を依頼する。
現地参加予定者は、会期2週間前（8月18日（木））からの検温と記録を行い、発熱や体調不良が認められた場合は、医療機関で感染症の陰性が証明されない限り現地参加を見合わせオンライン参加とする。
- [3]今後大会開催日が期間に含まれる形で、広島県にまん延防止等重点措置が適用、または緊急事態宣言が発令された場合にも、開催形式は原則として変更しない。
- [4]ただし、国、広島県または会場の学校法人福山大学から中止等の要請、またはレーザセンシング学会理事会の判断により、全ての行事をオンラインに変更する可能性がある。
- [5]開催形態に変更があった場合は速やかに大会公式ホームページや電子メール等で参加者に通知する。

【2. 参加費の徴収について】

簡素迅速化、感染症防止も配慮し、現地での徴収は行わない。

【3. ポスター発表形式について】

現地・オンラインで発表する同一の内容のポスターを会期中参加者限定ホームページに掲載する。また、オンラインでのポスター発表の参考資料としてショートプレゼンテーションも掲載できるようにする。

ショートプレゼンテーションは、2分間のパワーポイント3枚程度の音声付きのスライドショーの動画などでmp4形式のファイル（50MB以下）を推奨。また、ショートプレゼンは廣野賞審査の対象ではないが、提出がある場合、審査の参考資料として使用する。

8月29日（月）までに、ポスター、ショートプレゼンテーションのファイルを実行委員会に送付する。

【4. 懇親会の開催について】

新型コロナウイルス感染状況に鑑み、懇親会は中止とする。

当日の感染状況が許せば、各自が少人数で備後福山の名産を楽しめるよう、飲食店リストなどの情報提供を検討する。

【5. 小中高校生向けセミナーの実施】

9月1日 17:30～19:00 福山市生涯学習プラザ（まなびの館 ローズコム）大会議室（収容定員190名）にて、50名規模で実施予定。参加者募集中（8月31日締切）。

講師は、

千葉大学 椎名達雄先生 “浮いたほこりの動きを見たい！”

極地研 江尻 省先生 “南極から地球と宇宙の境界を観る”

の2件。